

【2023 年度健康増進計画（重点取組事項）】

特定保健指導の推進 ＜目標：実施率 70%＞	従業員の疾病を早期に予防することを課題と捉え、生活習慣病の発症リスクが高く生活習慣の改善による予防効果が多く期待できる特定保健指導の実施を推進しています。具体的には、一次健診の早期受診勧奨を行い、健康保険組合との連携強化により、指導対象者を早期に特定し、指導開始時期を 8 月に前倒しする事で、実施率の向上を図っています。また、特定保健指導のオンライン指導内容について、対象者のニーズに応じた複数のメニューを準備する等、実施しやすい環境整備を行うとともに、中断者を出さないように、各所属で任命した健康増進担当者によるフォロー体制も充実させ、特定保健指導の実施率向上を図っています。
一次健診・二次検診（至急者）の完全実施 ＜目標：受診率 100%＞	定期健康診断の受診は、従業員の健康づくりの基本です。全従業員の確実な定期健康診断の実施に加え、早期受診を積極的に推奨することで、二次検診・特定保健指導対象者へ早期受診を促し、疾病の未然予防につなげています。また、従業員が主体性を持って健康増進に取り組むために、健康に対する意識向上を課題と捉え、2023 年度より健診管理システム「健康ポータル」を導入しました。過去の健診結果やストレスチェック等自身の健康情報の一元管理や、リテラシー向上に向けた情報掲載・発信等を行うことで、従業員の更なる健康増進の意識向上を通じた一次健診・二次検診（至急者）の完全実施に努めています。
がん検診の受診推進（厚労省推奨年齢） ＜目標：実施率 50%＞ ※胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん・子宮がん	従業員の平均年齢が 49 歳と相対的にがん罹患リスクも高まる中、がんの早期発見・早期治療に向けて、がん検診は重要であり、受診機会の創出を積極的に行っています。2021 年度より、大腸がん検診は、セレクト検診における必須化により、受診率が大幅に向上しました。また、当社は女性従業員が全従業員の約 9 割を占めており、女性がん検診の推進が課題です。そのため、今年度は、一部の地域で集団健診時に乳がん検診のオプションを導入しています。さらに、人間ドック・セレクト検診において、子宮がん・乳がんの自治体クーポン券を利用可能にする等、受診機会を拡大することで、がんの早期発見、重症化予防に努めています。
ストレスチェックの実施 ＜目標：受検率 100%＞	従業員のストレス軽減やメンタル不調の未然防止等メンタルヘルス向上を課題と捉え、従業員への教育や情報提供を充実させるとともに、法令に基づく「ストレスチェック」については、全従業員の実施を徹底しています。「ストレスチェック」の実施結果を踏まえたメンタルヘルスの向上・改善に向けては、産業医面談に加え、社内外の相談窓口の利用等、丁寧なフォロー体制を構築しています。加えて、今年度より新たに、AI を活用したメンタルチェックサービスを導入し、スマートフォンや PC から気軽に自身のメンタル状況をチェックし、必要に応じて専門カウンセラーによるカウンセリングを受診できるようにしており、従業員自身の主体的な取り組み等も通じて、悩みの解消やストレスの軽減等を図っています。